映画『帆花』上映会　in 岩槻

～字幕付き上映＆トークイベント～

市民会館いわつき ホール　14：30～（開場 13：30）

（所在地：さいたま市岩槻区太田 3-1-1）

入場無料

國友監督プレゼンツ
特別映像あり☆

※事前申し込み →

生まれてきてくれて、ありがとう

帆花

ほ の か

令和5年

7月13日 木曜日

※車いすご鑑賞スペースに限りがございます（6 組）ので、事前にご相談ください

監督・撮影：國友勇吾　撮影：田崎絵美　編集：秦岳志　整音：川上拓也　音楽：haruka nakamura　プロデューサー：島田隆一　製作：JyaJya Films＋roa film　配給：JyaJya Films
配給協力・宣伝：Regard　助成：文化庁文化芸術振興費補助金（映画創造活動支援事業）｜独立行政法人日本芸術文化振興会　2021年｜日本｜72分｜DCP｜ドキュメンタリー　©JyaJya Films＋roa film

文部科学省選定
少年・青年・成人・家庭向き

honoka-film.com

後　　援：さいたま市、さいたま市社会福祉協議会、さいたま市手をつなぐ育成会、
カリヨンの杜医療的ケア児・者家族の会 Ohana、久喜市医療的ケア児・者家族の会、
一般社団法人 埼玉県知的障害児者生活サポート協会、埼玉県重症心身障害児（者）を守る会、
埼玉県発達障害福祉協会

主　　催：社会福祉法人ささの会（さいたま市岩槻区大字笹久保 333-1）

社会福祉法人ささの会設立 20 周年企画

SASANOKAI

生きているということ。それは――

我が子の成長を喜び、愛しむ両親の姿とその日々の営みをみつめ、いのちにふれるドキュメンタリー

生後すぐに「脳死に近い状態」と宣告された帆花ちゃん。母親の理佐さん、父親の秀勝さんと過ごす家族の時間にカメラは寄り添う。常に見守りが必要な帆花ちゃんとの生活は誰にでもできることではない。でも、理佐さんと秀勝さんの二人にとってはあたり前で、普通のこと。いろんな場所に出かけていき、絵本を読み聞かせ、お風呂に入れ、吸引をする…ありふれた親子の日常の中で積み重なり、育まれていくもの。動かなくても、言葉を発しなくても、ふれあうことで通じあい、満ちていくもの。帆花ちゃんを愛しむ両親の姿から伝わる、 我が子と一緒にいられる幸せ。

そんな家族のかけがえのない日々に、生きる喜びと生命の営みを見出したのは、今作が初監督作品となる國友勇吾。プロデューサーを『春を告げる町』の監督である島田隆一が務め、編集を『ニッポン国VS泉南石綿村』『東京クルド』などの秦岳志、整音を『台湾萬歳』『オキナワ サントス』などの川上拓也が手掛けるなど、現代ドキュメンタリーの精鋭陣がスタッフとして参加している。帆花ちゃんの手の柔らかさとぬくもりに、生を実感して心が震えたという國友監督が紡ぎ出す、いま、この社会に私たちとともに在る「いのち」の物語。

@honoka_film　fb.com/honoka.film　honoka-film.com

上映会後、トークイベント　國友監督舞台挨拶/スペシャル対談

帆花さんとご両親×伊藤佳世子さん（千葉市中央区障害者基幹相談支援センター）×遅塚昭彦さん（さいたま市自立支援協議会）×進行：長岡（ささぼし）

チケット：無料、ＱＲコードより事前申し込み　携帯からお申込み

※ＱＲコードからのお申し込みが難しい場合は、iwatsuki-shien@sasanokai.or.jp 宛、
　または、岩槻区障害者生活支援センターささぼし（☎048-793-4701）までご連絡ください

※会場へは、できるだけ公共交通機関をご利用ください

社会福祉法人ささの会設立 20 周年企画